

行政改革大綱

～質的向上をめざして～

平成27年7月
行政管理課

背景①: 県政を取り巻く環境

- 超高齢社会の到来や人口減少、グローバル競争の激化等による社会構造の変化
- 神奈川からエンジンを回し、成長戦略の実現をめざす など



- 行政組織や組織内の仕組みについて、変化に対応できるスピードや柔軟性が必要

背景②:これまでの県の行政改革

- 昭和50年代～ 様々な行政改革に取り組み
- 平成9年度～ 具体的な数値目標を設定

【主な取組み】

- 職員数、組織数(出先機関数)の削減
- 人件費の抑制
- 県債新規発行額の抑制 など



◇ かなりのレベルまでスリム化が進んでいる

「行政改革大綱～質的向上をめざして～」

平成27～30年度（4年間）

質的向上に着目した改革を積極的に推進

【基本的な考え方】

- 職員・組織・仕事の質を向上させ、行政組織の総合力を高める「質的向上」に着目した改革を推進



「かながわグランドデザイン」を着実に推進し、
県民にとって価値あるサービスを提供

改革の進め方①

- ◆「何をしたかではなく、何ができたかを重視」する
 - プロセスや実施したという事実のみを重視するのではなく、アウトカム(成果)を重視
 - 施策のアウトカム(成果)目標を設定し、実績を測る指標を位置づける。

改革の進め方②

◆県民のニーズに即応するためスピードアップを図る

- 全体構想、工程確認の上、施策の優先度を明確にし、手戻りや不要な重複を削減



(その結果)

◆職員一人あたりの生産性の向上

「行政改革大綱～質的向上をめざして～」

- 取組分野1 意識・風土改革
- 取組分野2 「スマート県庁」改革
- 取組分野3 組織・人事改革
- 取組分野4 財政・会計改革
- 取組分野5 政策形成改革
- 取組分野6 協働連携と情報発信改革
- 取組分野7 マネジメント改革

取組分野1 意識・風土改革

全職員の意識改革による改革促進

【脱・役人体質の徹底と役人魂の徹底】

- 県全体の風土改革
- 職員個々人の意識改革
- 幹部職員の意識改革

取組分野2 「スマート県庁」改革

スマート県庁大作戦のさらなる展開

- ワークスタイルのあるべき姿の策定
- 残業ゼロに向けた取組みの実践
- 業務の「見える化」とその活用
- 生産性向上に向けたオフィス改革に関する検討
- 業務のスピードアップに向けたルールの構築

取組分野3 組織・人事改革

組織、人事制度を含めた抜本改革

【組織・人事改革】

- 組織・人事
- 採用・育成
- 人事評価

【県庁CHO計画に基づく健康経営の実践】

取組分野4 財政・会計改革

厳しい財政状況の下、政策課題への
着実な対応に向けた改革

【財政改革】

- 中長期的な視点を持った財政運営
- 県有施設の計画的な管理・運用

【会計改革】

- 新たな地方公会計の導入

取組分野5 政策形成改革

政策決定プロセスの見直し

【政策形成改革】

- 政策形成のプロセスの効率化とスピードアップ
- 新規事業の立案

【目的を明確にした調査の実施】

- 調査の実施

取組分野6 協働連携と情報発信改革

多様な活動主体との連携、積極的な
情報発信

【協働連携】

- 渉外活動のさらなる促進
- 企業・大学・NPO等との連携・協働

【情報発信改革】

- 広報活動の充実
- 行政活動の「見える化」を通じた県民への県行政の状況報告

取組分野7 マネジメント改革

県全体の総合調整力の向上

【マネジメント改革】

- 知事との政策議論
- 幹部職員のマネジメント改革

最後に

- 限られた資源(時間、財源、人材)を最大限に有効活用する「質的向上」が必要



職員一人ひとりが、改革の主体者となる意識



価値ある県民サービスの提供を実現し、
やりがいのある県職員生活を！